

オジロワシ（タカ科） 全長オス 80、メス 95 センチ

毎年 10 下旬頃には、大仙市にオジロワシが飛来していた。

しかし、今年は 11 月 13 日になってもまだ現れません。野鳥仲間の T 氏と雄物川・玉川合流点に立ち、周囲を見渡した。もしかして事故にでも遭ってしまい今年は来ないのではと心配したところでした。

私は所要のためその場を離れることになったが、その 15 分後に T 氏から電話が入った。「先ほど雄物川の下流方向から悠然と 1 羽のオジロワシが飛来し、目の前を通り過ぎて行った。」

やっと来てくれたかと一安心。その翌日、再び現場に向かいナガラ方向を眺めていたら、2 羽のオジロワシがいるではないか。例年だと先発で飛来した個体から 1 週間から 2 週間後に 2 羽目が飛来しているが、今年はたった 1 日遅れの到着です。



体の大きさから、左がオスで右がメスとされます。

大急ぎで後を追いかけてきたのでしょうか。

その後の 2 羽は、止まり木で休んでいる時、また上空を飛び回る時などいつも一緒に行動しています。仲の良いつがいです。



玉川左岸の柳から、何かに狙いをつけているように見えた。



ナガラはまだ紅葉が残り、周囲の景色に溶け込んでいた。

滅多に鳴かないと言われるオジロワシですが、遂に「クワッ、クワッ、クワッ」と甲高い声の鳴き交わりを撮影することが出来ました。

国の天然記念物に指定されるオジロワシ。来年3月まで、ゆっくりと滞在してほしいと願っています。



いつも一緒。仲の良い番です。



左のメスがクチバシを真上に向け、突然鳴きだした。「鳴き交わり」と言われます。